

令和 8 年 度
秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科
博士前期課程

学生募集要項

(推薦特別選抜)

令和 7 年 4 月



秋田県立大学大学院生物資源科学研究科 博士前期課程

◎令和8年度4月入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

生物資源科学専攻【入学定員28名】			
選 抜 区 分	令和7年6月 実 施 試 験	令和7年8月 実 施 試 験	令和8年2月 実 施 試 験
	推 薦 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3年次学生を対象とする特別選抜
募 集 人 員	28名程度		若干名
入 学 資 格 審 査 申 請 期 間	令和7年5月7日（水） ～5月13日（火） 午後5時必着	令和7年6月16日（月） ～6月20日（金） 午後5時必着	令和7年11月25日（火） ～12月1日（月） 午後5時必着
出 願 期 間	令和7年5月26日（月） ～6月2日（月） 午後5時必着	令和7年7月22日（火） ～7月29日（火） 午後5時必着	令和8年1月26日（月） ～2月2日（月） 午後5時必着
試 験 期 日	令和7年6月28日（土）	令和7年8月19日（火）	令和8年2月28日（土）
合 格 者 発 表	令和7年7月10日（木） 午後1時予定	令和7年9月2日（火） 午後1時予定	令和8年3月6日（金） 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和7年7月18日（金） 午後5時必着	令和7年9月12日（金） 午後5時必着	令和8年3月13日（金） 午後5時必着

※令和7年8月および令和8年2月に実施する試験の詳細は、別途公表する当該募集要項を参照してください。

◎令和7年度10月入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

生物資源科学専攻【入学定員28名】	
選 抜 区 分	令和7年8月実施試験
	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜
募 集 人 員	若干名
入 学 資 格 審 査 申 請 期 間	令和7年6月16日（月）～6月20日（金）午後5時必着
出 願 期 間	令和7年7月22日（火）～7月29日（火）午後5時必着
試 験 期 日	令和7年8月19日（火）
合 格 者 発 表	令和7年9月2日（火）午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和7年9月12日（金）午後5時必着

※入試日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

目 次

I	秋田県立大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等	1
II	生物資源科学研究科	3
1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
2	入学者選抜の基本方針	3
3	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	4
4	修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	5
III	募集する専攻および募集人員	6
IV	出願資格（推薦特別選抜）	6
(1)	出願資格	6
(2)	入学資格審査	6
V	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	7
VI	出願期間および出願方法等	7
(1)	出願期間	7
(2)	出願方法	8
(3)	入学検定料	8
(4)	出願書類の提出先	8
(5)	出願書類	8
(6)	出願上の注意事項	9
(7)	入学検定料の返還請求について	9
VII	選抜方法等	10
(1)	試験期日	10
(2)	選抜方法	10
(3)	試験時間割	10
(4)	配点	10
(5)	試験会場	10
(6)	受験上の注意事項	10
VIII	合格者発表	11
(1)	発表期日	11
(2)	発表方法	11
IX	入学手続、初年度納付金等	11
(1)	入学手続	11
(2)	初年度納付金等	11
(3)	その他	11
X	入学試験成績の開示	13
XI	個人情報の取扱いについて	13
	試験場案内	14
	秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内	15

I 秋田県立大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

【博士前期課程】

学部教育を基礎として、さらに高度な知識・技能を身につけ先端的な研究に取り組むことにより、本学研究科博士前期課程の修了認定・学位授与の方針に示された高度専門職業人となることを目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

- ・大学学部相当の専門分野に関する基礎学力をもち、さらに高度な専門知識と研究開発能力を身につけることを目指す人
- ・幅広い視野やものの見方・考え方をもち、現代社会が直面する諸問題を発見し、解決できる能力を身につけることを目指す人
- ・グローバルな視野をもって、社会的・経済的価値を創出する力を身につけ、発展的な未来を切り開くことを目指す人

【博士後期課程】

博士前期課程の基礎に立って、広い視野と明確な問題意識をもって先端的かつ高度な研究に取り組み、本学研究科博士後期課程の修了認定・学位授与の方針に示された高度技術研究者を目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

- ・専門分野での高度な知識および博士前期課程相当の研究開発力をもち、独創的な研究に取り組もうとする人
- ・複数の分野を統合する幅広い視野をもって、現代社会が直面する諸問題を発見し、解決できる能力を身につけることを目指す人
- ・グローバルな視野をもって、社会的・経済的価値を先導的に創出する力を身につけ、発展的な未来を切り開くことを目指す人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学研究科では、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【博士前期課程】

高度専門職業人として必要な高度な専門知識・技術から文化、倫理まで幅広い内容を学際的に学べる科目を開講し、丹念な研究指導を行う。

- (1) 高度な専門知識・技術と研究開発能力を身につけるため、特論やセミナー、実験・実習等の科目を重点的かつ効果的に配列する
- (2) 高い水準の幅広い教養、倫理観とグローバルな視野を涵養するための科目を配列する
- (3) 高度な専門知識・研究開発能力と倫理観・幅広い教養を統合し、問題を発見し解決する能力および社会的・経済的価値を創出する力を身につけるための、演習や実験・実習等の科目を系統的に配列する
- (4) 研究指導の過程では、指導教員等研究者との議論、国内外での研究発表等の諸活動を通して、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める資質・能力を総合的に身につけ、高度専門職業人としてグローバルな視野をもって活躍できる能力を育成する教育を行う
- (5) 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいて、成績評価および修士学位论文審査を行う

【博士後期課程】

高度技術研究者として必要な幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力等を修得するための教育プログラムを展開し、高次の研究指導を行う。

- (1) 極めて高度な専門知識・技術と研究開発を遂行する能力を身につけるため、特論や演習等の科目を配列する
- (2) 優れたコミュニケーション能力と情報発信力を涵養するための科目を配列する
- (3) 研究指導の過程では、指導教員等研究者との議論、国内外での研究発表等の諸活動を通して、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める資質・能力を総合的に身につけ、自立した高度技術研究者としてグローバルな視野をもって活躍できる能力を育成する教育を行う
- (4) 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいて、成績評価および博士学位論文審査を行う

● 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学研究科は、以下の能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、学位論文審査並びに最終試験に合格した学生に学位を授与する。

【博士前期課程】

学部教育の基礎に立って、高度専門職業人として現代社会が直面する諸問題を解決し、発展的な未来を切り開くことを目指して、下記の能力を身につけ、各研究科・専攻ごとに定める所定の単位を修得し、かつ、修士の学位論文審査並びに最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

- (1) 各研究科・専攻の専門分野に応じた高度な専門知識
- (2) 各研究科・専攻の専門分野に応じた研究開発能力
- (3) 高い水準の幅広い教養と倫理観
- (4) 高度な専門知識・研究開発能力・倫理観・幅広い教養を統合し、問題を発見し解決する能力
- (5) 高度な専門知識・研究開発能力・倫理観・幅広い教養を統合し、グローバルな視野をもって社会的・経済的価値を創出する力

【博士後期課程】

博士前期課程の基礎に立って、高度技術研究者として現代社会が直面する諸問題を解決し、発展的な未来を切り開くことを目指して、下記の知識・能力を身につけ、各研究科・専攻ごとに定める所定の単位を修得し、かつ、博士の学位論文審査並びに最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、博士の学位を授与する。

- (1) 各研究科・専攻の専門分野に応じた極めて高度な専門知識
- (2) 各研究科・専攻の専門分野について、自立した研究者として高い倫理観をもって研究開発を遂行する能力
- (3) 専門性の極めて高い分野で、グローバルに活躍するための優れたコミュニケーション能力と情報発信力
- (4) 極めて高度な専門知識や研究開発能力を基に、複数の分野を俯瞰する広い視野をもって、自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力
- (5) 極めて高度な専門知識と研究開発能力を統合し、新しい社会的・経済的価値を先導的に創出する力

Ⅱ 生物資源科学研究科

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 博士前期課程

学部教育の基礎に立って、さらに高度で先端的な厚みと広がりをもつことにより発展的な未来を切り開く高度専門職業人を目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

生物資源科学専攻	・生物資源科学に関するより高度な専門性を身につけ、それを取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方や実地調査や機器分析における技術と手法を兼ね備えて、これらを企業や公務等において効率よく運用できるマネジメント能力をあわせもって活躍することを目指す人
----------	---

(2) 博士後期課程

広い視野と独創性や創造力をもって問題解決に挑む高度技術研究者を目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

生物資源科学専攻	・生物資源科学に関して、前期課程での研究実績に見合った専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を有し、それらを大学、研究機関、ベンチャービジネス等で発揮することを目指す人
----------	---

2 入学者選抜の基本方針

(1) 博士前期課程

推薦特別選抜	学力検査では英語能力（TOEIC スコア）を評価し、書類審査・面接では受験時までに修得した生物資源科学に関する専門性および生物資源科学に関する幅広い視野をもって思考できる能力、問題解決に取り組もうとする意欲を評価する。
一般選抜	学力検査では英語能力（TOEIC スコア）に加え、受験時までに修得した生物資源科学に関する専門性を評価し、書類審査・面接では生物資源科学に関する幅広い視野をもって思考できる能力、問題解決に取り組もうとする意欲を評価する。
社会人特別選抜	書類審査と面接で受験時までに社会人として修得した生物資源科学に関する専門性と研究能力、研究実績を評価し、面接では生物資源科学に関する幅広い視野をもって思考できる能力、問題解決に取り組もうとする意欲を評価する。
外国人・帰国子女特別選抜	書類審査と面接では受験時までに修得した生物資源科学に関する専門性を評価し、面接では生物資源科学に関する幅広い視野をもって思考できる能力、問題解決に取り組もうとする意欲を評価するとともに本学で研究と学修するための日本語や英語等の能力も確認する。
学部3年次学生を対象とする特別選抜	学力検査では英語能力（TOEIC スコア）に加え、受験時までに修得した生物資源科学に関する専門性を評価し、書類審査・面接では生物資源科学に関する幅広い視野をもって思考できる能力、問題解決に取り組もうとする意欲を評価する。

(2) 博士後期課程

推 薦 特 別 選 抜	書類審査と面接で博士前期課程等における研究実績について評価し、面接では専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を評価する。
一 般 選 抜	書類審査と面接で博士前期課程等における研究実績について評価し、面接では専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を評価する。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査と面接で受験時までの研究実績について評価し、面接では専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を評価する。
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	書類審査と面接で受験時までの研究実績について評価し、面接では専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を評価するとともに本学で研究と学修するための日本語や英語等の能力も確認する。

3 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 博士前期課程

高度専門職業人として必要な基礎的な知識・技術から文化、倫理まで幅広い内容を学際的に学べる授業科目と、教員の専門性を活かした講義・実習科目を開講する。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講する。

生 物 資 源 科 学 専 攻	・生物資源科学に関連する幅広い分野の専門性と視野、実践的な問題解決やマネジメントの能力を身につけるため、オムニバス形式の講義科目や実験実習科目、テクニカルスキル科目の科目を設ける。また、修士学位論文研究の成果を学会発表させ、少なくとも1報以上を主著者として口頭またはポスター発表できるよう指導する教員体制を設ける。
-----------------	---

(2) 博士後期課程

前期課程で培った専門知識の深化と問題発見・解決力を高めるため、研究指導と公表論文の指導に注力して研究力を身につけさせる。また、研究力を実践に活かすために必要な幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力等を養う教育プログラムを展開する。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講する。

生 物 資 源 科 学 専 攻	・広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして、独創的な研究を発展させていく研究力をつけるため、以下の教育体制と教育プログラムを設ける。 ・研究推進と公表論文作成に不可欠な討論の機会を増やすため、主指導・副指導教員を必ず設ける。修了要件として、課程中盤での公開中間発表と査読付学術誌への2報以上の論文発表（うち少なくとも1報は主著者）を義務づける。英語での学術発表を指導する英語プレゼンテーション科目を設ける。 ・幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力の涵養を図るため、学生の企画・運営による特別セミナーの開催を支援し、課程期間中の学外短期研究研修制度を設ける。
-----------------	---

4 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

(1) 博士前期課程

高度専門職業人として、学部教育の基礎に立って研究開発能力を育み、生物資源科学に関わる知識と思索力に、更に高度で先端的な厚みと広がりを持たせることにより、発展的な未来を切り開く能力を身につけ、修了に必要な単位を修得した学生に修士の学位を授与する。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりである。

生 物 資 源 科 学 専 攻	・生物資源科学分野の高度な専門的知識を有し、社会で活用できる能力 ・生物資源科学分野の研究を遂行するための高度な技術と思考能力を有し、社会で活躍できる能力 ・水準の高い教養を背景に、倫理規範を遵守し社会から信頼される研究を遂行できる能力 ・生物資源を取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方を身につけ、社会で役立つ問題発見解決能力 ・生物資源を取り巻く社会的背景への幅広いものの見方・考え方を踏まえた高度なコミュニケーション力を備え、生物資源科学の分野でグローバルに活躍できる能力
-----------------	--

(2) 博士後期課程

高度技術研究者として、前期課程の基礎に立って研究開発能力を高め、複数の分野を俯瞰して広い視野で物事を分析し、問題の提起と解決を行う能力を身につけ、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりである。

生 物 資 源 科 学 専 攻	・生物資源科学に関する広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして、生物資源科学の課題に対し、先端的なアプローチ方法や解決方法を開拓して、独創的な研究を発展させていく能力
-----------------	--

Ⅲ 募集する専攻および募集人員

入学定員および 選抜区分 専攻名	入学 定員	募 集 人 員		
		令和7年6月 実 施 試 験	令和7年8月 実 施 試 験	令和8年2月 実 施 試 験
		推薦特別選抜	一 般 選 抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一 般 選 抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3年次学生を対象とする特別選抜
生物資源科学専攻	28	28名程度		若干名

Ⅳ 出 願 資 格（推薦特別選抜）

(1) 出願資格

学業および人物共に優れ、出身または在籍する大学・高等専門学校等の指導教員が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合には入学を確約できる者で、以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 大学を卒業した者および令和8年3月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および令和8年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および令和8年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者および令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑧ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、令和8年4月1日までに22歳に達する者

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑧により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたり、次の期間内に申請が必要となりますので、次ページii)の各書類を後記「出願書類の提出先」まで郵送してください。書類の提出は、入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とし、「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。（日本国外から申請する場合は、個別に後記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。）

i) 入学資格審査申請期間

令和7年5月7日(水)から5月13日(火)午後5時必着

ii) 入学資格審査に必要な書類

書 類 名	摘 要
入学資格審査申請書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履歴書	様式は任意です。
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返送用封筒(入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所および氏名を明記し、110円切手を貼付してください。

② 入学資格審査の結果は、令和7年5月21日(水)までに本人あてに通知します。

V 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談してください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに後記「出願書類の提出先」へ提出してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に本学から連絡することがあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも提供されるとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合も、速やかに相談してください。

なお、事前相談したことにより、本学への出願が義務づけられるものではありません。

事前相談期限	令和7年5月19日(月)午後5時まで
--------	--------------------

VI 出願期間および出願方法等

本選抜に出願する者は、入学後の研究指導の可否について、指導を希望する指導教員に事前に確認する必要があります。本学在学者は出願までに、学外から出願する者は以下の期限までに確認してください。

期限：令和7年5月13日(火)午後5時

※ 詳細については9ページの「(6) 出願上の注意事項①」を確認してください。

(1) 出願期間

令和7年5月26日(月)午前9時から6月2日(月)午後5時必着

※ 受験を目的とした「短期滞在」ビザ取得のため、本学が定める出願期間前に出願を証明する書類が必要となる場合は、以下の期限までにメールにて申し出てください。

・ 申出期限 令和7年5月7日(水)午後5時まで

・ 申出先 秋田県立大学アドミッションチーム(秋田キャンパス)

メールアドレス nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。大学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には郵送または持参による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後 5 時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前 9 時から午後 5 時までとします（土・日を除く。）。

(3) 入学検定料

30,000円

インターネット出願ページの指示に従って出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

(5) 出願書類

次の書類を原則としてすべて提出してください。※印の書類は該当者のみ提出してください。

番 号	書 類 名	摘 要
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して提出してください。
2	志望理由書	本学所定の用紙に志望理由を記入し、提出してください。
3	業績レポート ※	出願資格⑧に該当する者は本学所定の用紙に業績を記入し、提出してください。
4	推薦書	本学所定の用紙に、出身または在籍する大学・高等専門学校等の指導教員が記入の上、厳封したものを提出してください。
5	卒業（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	① 出身もしくは在籍する大学の学長等または大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出してください。
6	成績証明書	出身または在籍する大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。
7	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証）	令和 5 年 6 月 2 8 日以降に受験した TOEIC Official Score Certificate（公式認定証）の原本またはデジタル公式認定証の P D F を印刷したものを提出してください。ただし、本学で実施した TOEIC-IP を受験した場合は、当該スコアレポート（個人成績表）の原本の提出をこれに代えることができますものとします。
8	住民票の写しまたはパスポート ※	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前 3 か月以内に発行されたもの、コピー不可）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。

9	受験承諾書 ※	企業等に在籍のまま本学に入学する希望のある者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします。）。
10	受験許可書 ※	他の大学院に在学中の者は、当該大学院が発行する受験許可書を提出してください（様式は任意とします。）。
11	指導を希望する教員との連絡記録 ※	本学の学部生以外の者は、入学後の研究指導を希望する教員と連絡をとったことを示す記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。
12	安全保障輸出管理に関する誓約書	本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認の上、記名押印またはサインをし、提出してください。
13	その他本学が指定する書類 ※	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。

注）各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、15ページの「秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内」を参照の上、指導を希望する教員に入学後の研究指導の可否について必ず問い合わせてください。指導を希望する教員の連絡先がわからない場合には、前記「出願書類の提出先」に連絡してください。
- ② 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、注意してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出願書類受理後令和7年6月18日（水）午前9時からインターネット出願ページにてダウンロードできるようになりますので、印刷してください。
- ⑤ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要なビザの取得に時間を要する場合がありますので、受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑥ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定めています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	30,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	30,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

送付期限：令和8年2月20日（金）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

VII 選抜方法等

(1) 試験期日

令和7年6月28日（土）

(2) 選抜方法

- ① 学力検査、書類審査・面接の結果を総合して判定します。
- ② 学力検査の科目は英語とし、出願時に提出した TOEIC のスコアを、本学の定める方法で100点満点に換算し、合否判定に使用します。

(3) 試験時間割

面接 午前9時30分～

(4) 配 点

学力検査（英語）	書類審査・面接	合 計
100	200	300

(5) 試験会場

秋田キャンパス（秋田市）

(6) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接開始30分前までに指定された面接控室に入室し着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑤ 学力検査および面接のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 試験時間中に電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑦ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

VIII 合格者発表

(1) 発表期日

令和7年7月10日（木）午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

IX 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期限 令和7年7月18日（金）午後5時必着

② 入学手続方法 入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額 秋田県内の者 282,000円

上記以外の者 423,000円

注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

三 前2号に掲げる者のほか、これらに準ずるとして理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。
なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

② 授 業 料

ア 金 額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 日本学生支援機構が貸与する奨学金の詳細については、同機構のホームページを参照してください。

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程 4 年、博士後期課程 6 年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程 2 年、博士後期課程 3 年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する方が対象となります。

- ア 職業を有している者
- イ 育児・介護に従事している者
- ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。
申請方法については、各研究科入学予定者に案内します。

⑤ 後援会について

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座、インターンシップへの助成および様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は 2 年間で 20,000 円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入学案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続と併せ、入会の手続きをお願いします。

X 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、不合格者本人に限って、口頭による簡易開示請求により、その場で閲覧することができます。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に④に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間（土・日・祝日を除く。）※受付時間：午前9時～午後5時

④ 開示場所および問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

XI 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ・入学者選抜
- ・合格者発表
- ・入学手続
- ・次年度以降の学生募集

② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

- ・教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
- ・学生支援関係業務（奨学金申請等）
- ・授業料徴収業務

④ 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

試験場案内

【秋田キャンパス（生物資源科学部・生物資源科学研究科）】

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅まで JR で約15分, 追分駅から徒歩で約20分
- ・秋田駅から五城目線、追分線バスを利用してバス停「追分三叉路」まで約40分
- ・バス停「追分三叉路」から徒歩で約15分

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内

博士前期課程 生物資源科学専攻

博士後期課程 生物資源科学専攻

1 生物資源科学研究科の概要

生物資源科学研究科 生物資源科学専攻は博士前期課程 5 講座と博士後期課程 5 講座を置きます。各講座に属する研究グループは次のとおりです。

1 生物資源科学専攻

① 応用生物科学講座

微生物機能グループ、動物機能グループ、植物機能グループ、食品醸造グループ

② 生物生産科学講座

植物生産基礎グループ、植物遺伝・育種グループ、植物生理グループ、
分子シグナル制御グループ、植物資源創成システムグループ

③ 生物環境科学講座

陸域生物圏グループ、環境管理修復グループ、地域計画グループ
基礎生命科学グループ

④ アグリビジネス学講座

アグリテクノロジーグループ、ルーラルエンジニアリンググループ、
アグリビジネスマネジメントグループ、フィールド農学グループ

⑤ 木質科学講座

木質科学グループ

2 指導教員と研究テーマ

指導教員の研究テーマは以下のURLから見るができます。

なお、授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

研究テーマ一覧

<https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/grad-bio/6802>

生物資源科学研究科

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

(右記のQRコードからアクセスできます。)

◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

